

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年7月21日（火）No.18
文責：情野 夏美

6年生マイペース学習を終えて・・・

6年算数「分数÷分数」で行っていたマイペース学習が終了しました。様々な成果と課題が見えてきましたので、ご報告いたします。

【成果】

- ・昭弘先生のご提案で、一斉学習を行う新しいコースを追加しました。37名中3名が希望し、学びを進めました。アンケートでは、次行う時にもそのコースを選びたいと書いていました。自分で学びを進めたい子もいれば、今までのような一斉学習がいいという子もいます。どちらを選択するかも自由だなと感じました。
- ・友達と一緒に学びを進める児童が多くいました。コースや学習している場所は違うけれど、困ったときに聞いたり、アドバイスをもらったりしていました。
- ・上級コースでは、自分で、学習内容の大事なところ（まとめ）を考えたり、ステップを減らして、思考する場面が多くなったりする工夫をしました。真剣に考えている子が多かったです。

【課題】

- ・どちらのクラスも予定より1時間多く行いました。用意していた課題が終わる児童が3分の1くらいいて、チャレンジ学習に取り組んでいました。チャレンジ学習は、eライブラリの課題を行うことやミニ先生などの6つのコースを用意していました。しかし、集中力が続かず、関係のないおしゃべりが多くなることもありました。それは、終わっていない児童も同じでした。時間が経てば経つほどほど、だんだんとマンネリ化してきたなと感じます。みんなで、思考を巡らせて考える問題や、魅力的な課題にするなど、さらなる工夫が必要だと感じました。また、すべてマイペースにするのではなく、一斉学習との組み合わせも重要となってくると感じました。
- ・マイペース学習で行う単元の選定が大事となってくると感じました。今回は、「1学期中に1回、マイペース学習をやっておきたい!」と思っていたので、「残っている単元のここができそうだ。」という軽い考えで行いました。テストの結果を見ても感じましたが、どこで行うか、任せるかが大事だなと痛感しました。

※マイペース学習後に行った児童へのアンケートの結果、テストの分析、参観された先生の感想など、回覧します。ご覧ください。

